



子どもとともに創るウェルビーイングシティしながわ



提案者：東京都品川区

💡 品川区の特徴

人口動態

- 全国的に人口減少傾向にある中で、**緩やかに増加している**
- 都心部の中でも子どもや若い世代の**人口が多い**



産業

- **交通の要衝**として恵まれた地理的条件のもと、古くから**製造業**が集積
- 近年は、IT企業やAI等の分野の**スタートアップ企業**が大崎・五反田エリアに集積



地域資源

- 都内では珍しい地域の生活に根ざした個性豊かな**商店街が97存在**  
(戸越銀座商店街、武蔵小山商店街など)



💡 今後取り組む課題と方針

経済

将来にわたる産業の発展のため、新サービス・イノベーションによる企業活動の活性化や、次世代の担い手の育成

**新サービス・イノベーションの創出、  
スタートアップ育成・実装に向けた支援**

社会

地域の持続的発展のため、人口の維持と地域の担い手の確保

**子ども・若者を中心とした  
ウェルビーイングの向上**

環境

ゼロカーボンシティしながわを実現するため、住民や事業者、商店街などあらゆるステークホルダーの巻き込み

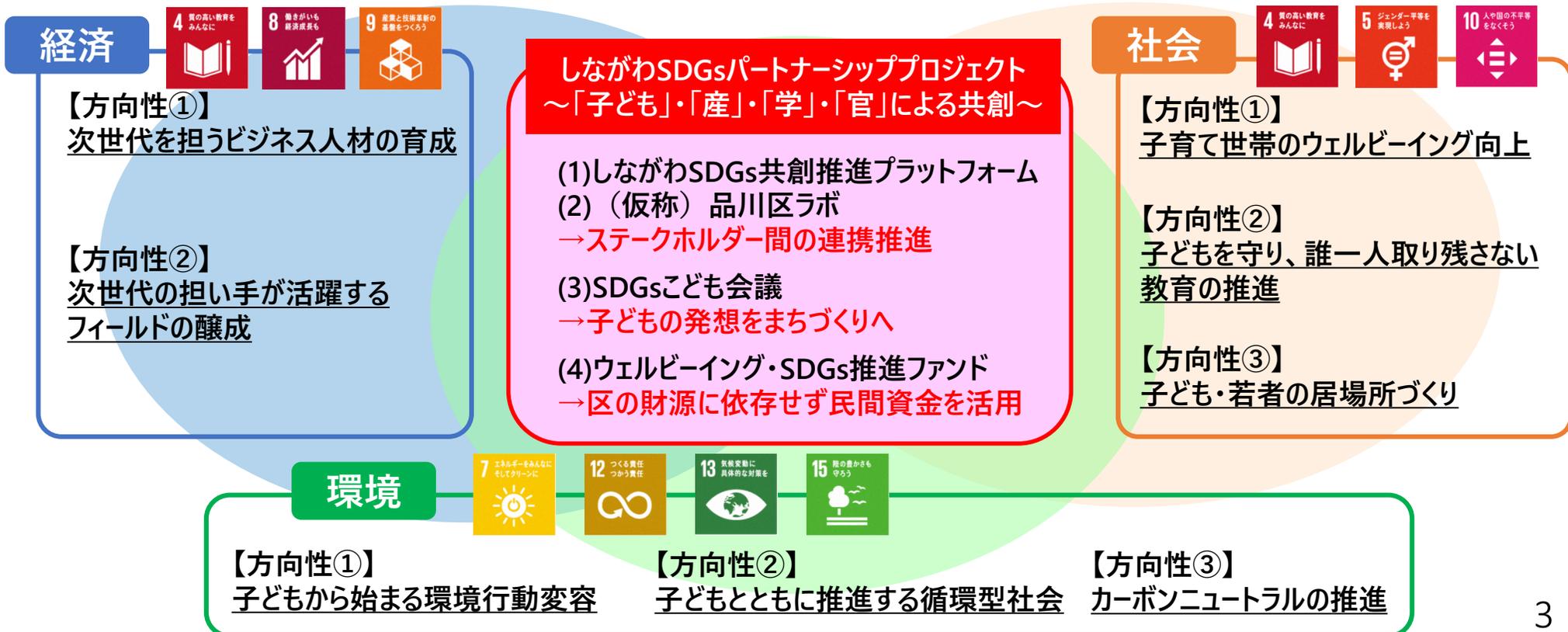
**二酸化炭素排出の原因見える化、  
家庭における環境教育の推進**

2030年あるべき姿：次世代の担い手と産業が育ち 多様な連携により 新しい生活シーンを描くまち  
子育てや教育といった次世代の担い手の育成をメインテーマと捉え、子ども関連の取組を一層推進するとともに、産業集積地であるという強みを最大限に活かし、多様な連携を推進しながら区内全体のウェルビーイングの向上を図る。

【モデル事業】

子どもとともに創る  
ウェルビーイングシティしながわ

安心して子どもを産み育てることができる環境に一層の磨きをかけるとともに、子ども一人ひとりのウェルビーイングの向上に着目し、希望に満ち溢れた次世代を担う人材の育成と将来活躍するフィールドを醸成する。さらに、子どもの柔軟な発想をまちづくりに取り入れることで、常識に捉われない新時代のSDGs推進都市を実現する。



## 次世代を担うビジネス人材の育成

「スチューデント・シティ」による  
経済活動体験

・子どもたちが経営者と消費者の立場を体験する学習  
体験型実技演習プログラム

将来設計学習  
「ファイナンス・パーク」の実施

・子どもを対象にお金に関する意思決定と進路選択など  
の将来設計体験学習  
→将来の進路を体験的に考える

区内企業と連携した  
プログラミング教室の開催

・プログラミング教室、プログラミング教材の導入  
→社会へ関心を持つきっかけ・論理的思考力育成

学生向けアントレプレナーシップ  
（起業家精神）の醸成

・学生を対象としたイベント等により起業や創業を知る  
→課題の解決に挑戦する精神と資質・能力を育む



子どもや若者を対象に社会で必要なスキルの  
習得や起業家精神の醸成を図ることにより、次  
世代を担う人材が育成される。



## 次世代の担い手が活躍するフィールドの醸成

五反田パレー  
スタートアップエコシステムの構築

・資金調達やビジネス協業などの「つなげる支援」  
・メンタリングやノウハウの共有などの「育てる支援」  
・他自治体との連携拡大や実証実験の支援などの  
「呼び込む支援」



人材の集積や官民連携の推進を図ることで、  
次世代の担い手が活躍する場が醸成される。



### 子育て世帯のウェルビーイング向上

子育て世帯の交流機会の充実

- ・ポップンルーム（地域交流室）の実施
- ・地域コミュニティアプリによる交流促進

品川版未就園児  
定期預かり事業の実施

- ・空き定員を活用した預かり事業の実施
- ・未就園児の発達促進など在宅子育て家庭の支援

在宅子育て支援施設の整備

- ・子育て不安の解消やリフレッシュするための拠点施設



交流機会の充実や子育て支援策の充実を図ることで、安心して子育てができる。



### 子どもを守り、誰一人取り残さない教育の推進

児童見守りシステム「まもるっち」  
による子どもの安全確保

- ・地域の支え合い・助け合いによる安全・安心なまち

ICTを活用した教育の推進

- ・ひきこもり傾向にある児童・生徒のためのメタバース技術を活用した支援

ヤングケアラー支援

- ・元ヤングケアラーのコーディネーターを配置
- ・進学相談や配食サービスなど当事者に対する支援



子どもの安全確保と教育の充実を図り、すべての子どもが取り残されることなく成長することをめざす。



### 子ども・若者の居場所づくり

「子ども若者応援フリースペース」  
による居場所づくり

- ・専門スタッフによる、子ども・若者の段階的伴走支援

子ども食堂の支援

- ・開設相談、寄付受付、分配・搬送等の一元化、GCFの活用→効率的・効果的な支援



居場所づくりを行うことにより、すべての子どもや若者が孤立することなく自分らしくいられるようにすることをめざす。



## 子どもから始まる環境行動変容

エコルとごしによる  
体験型環境学習の推進

- ・体験型展示や多彩なイベント・講座
- ・環境を楽しみながら学ぶ機会の提供

SHINAGAWA “もったいない”  
プロジェクトによる食品ロス削減

- ・フードドライブ常設窓口の設置による食品ロス削減
- ・区内商店と連携した啓発活動の実施



環境教育と普及啓発を推進することで、一人ひとりがカーボンニュートラルの実現に向けて自覚ある行動を実践する。



## 子どもとともに推進する循環型社会

リサイクルおよび  
資源回収の推進

- ・区内約1万か所の資源ステーションによる資源回収
- ・粗大ごみのリユースの促進  
→資源の有効利用とごみの減量化を図る。

間伐材利用の促進

- ・都内自治体や高知県と連携したゼロカーボンの推進
- ・間伐材を活用した環境保護の啓発



無駄を無くし、ごみを減らす循環型社会に向けた取組を推進することで、CO2排出量が削減される。



## カーボンニュートラルの推進

クリーンエネルギー化、  
環境に配慮した建築物の普及

- ・「エコルとごし」の施設内を巡るツアーを開催  
→ZEBリーディング・オーナーとしてZEBの普及拡大

EV公用車の導入とカーシェア

- ・公用車の電気自動車への移行
- ・カーシェアとしての区民利用→EV化普及促進



区の施設等においてクリーンエネルギー化を推進し普及を図ることで、カーボンニュートラルの実現に近づく。



## しながわSDGsパートナーシッププロジェクト ～「子ども」・「産」・「学」・「官」による共創～

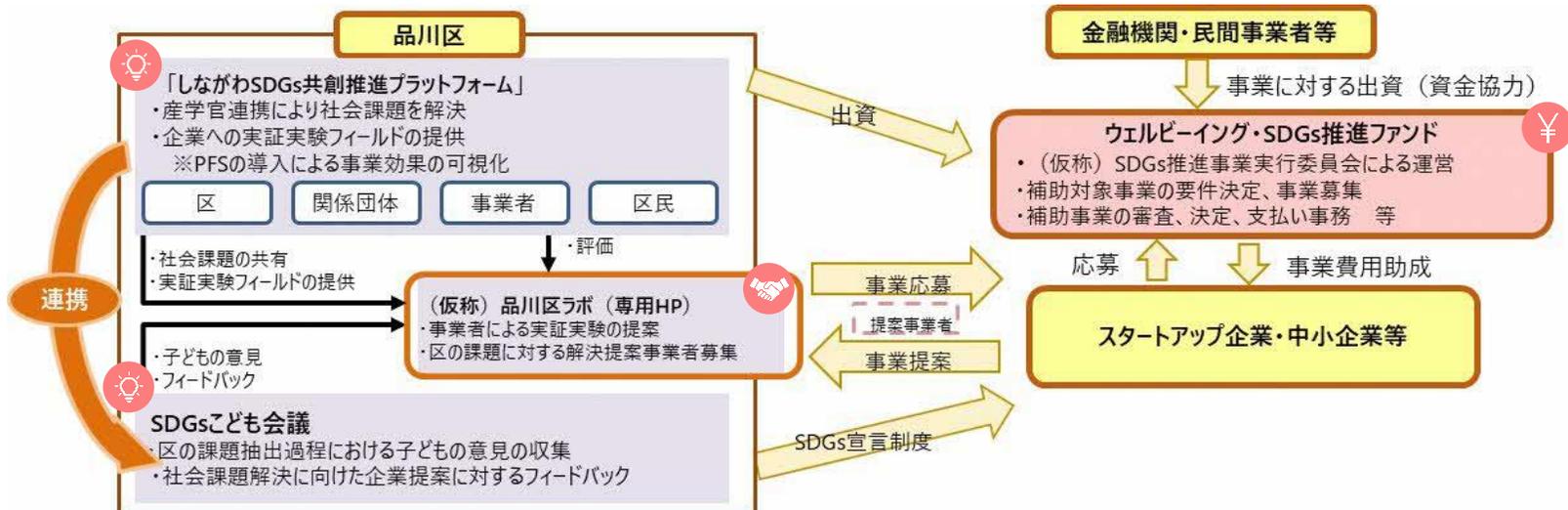
- ・子どもの柔軟な発想を社会課題の解決に活用する仕組みと、民間企業のソリューションと社会課題を結びつけるためのプラットフォームを構築する。
- ・民間企業がより自発的にSDGsに資する取組を推進していくためのインセンティブとなる制度を設計し、**自律的好循環の形成**を図る。

### ◆ 3つの特徴

-  **多様なステークホルダーとの連携**
  - 関係団体、事業者、区民との連携を推進するほか、区の未来を担う子どもの柔軟な発想力を取り入れる。
-  **マッチング促進による連携事業創出**
  - ニーズ（地域課題）とシーズ（サービス、ソリューション）の積極的なマッチングを図る。
-  **持続可能な資金調達スキーム**
  - 区の財源だけに依存しない、民間資金を活用する資金調達フレームを構築する。

多様かつ柔軟な意見の吸い上げ、新たなソリューションの活用、民間資金の積極的活用により自律的好循環を形成

### 全体スキーム



## 💡 多様なステークホルダーとの連携

### しながわ SDGs 共創推進プラットフォーム

- ・関係団体、事業所、区民等を含む約30名で構成され、様々な視点から意見交換や情報交換を行うことにより、課題や課題解決に向けての方向性を示す。
- ・社会課題の抽出や実証実験フィールドの検討、SDGsに係る取組の評価等を行う。

### SDGs 子ども会議

- ・子ども同士でSDGsをテーマとしたまちづくりについてのディスカッションを行う。
- ・子どもの意見の発表の場だけではなく、子どもの考えを受けとめ、子どもの柔軟な発想をまちづくりに活かす。



### 🚩 特徴

- 区民、事業者、関係団体等、区を取り巻く多様なステークホルダーが参画
- (仮称) 品川区ラボやSDGs子ども会議など他の取組とも連携

### 🚩 特徴

- 子どもの視点による区の課題抽出や、企業提案に対するフィードバックを行う
- 子どもたちの社会参画意識の醸成につながる





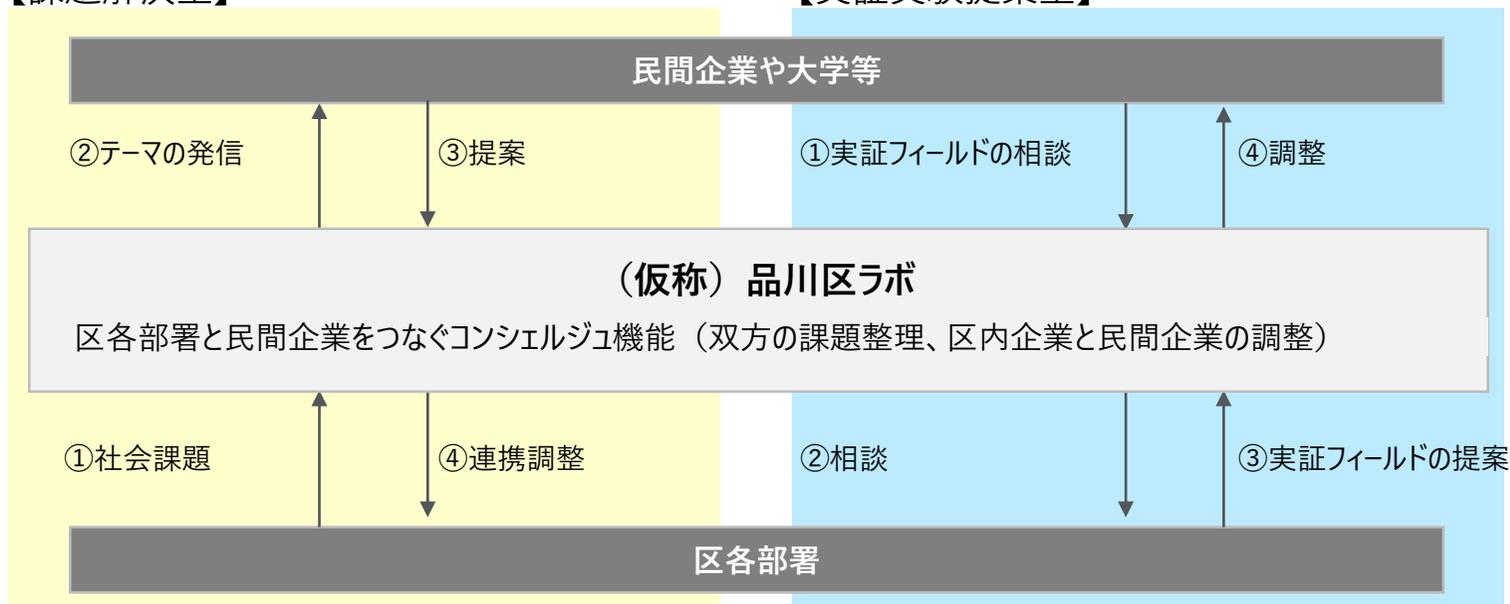
マッチング促進による連携事業創出

(仮称) 品川区ラボ

民間企業や大学等からの提案により行政の抱える社会課題を解決し、また、行政が民間企業等へ新サービスの実証実験の場を提供することにより新たなソリューションを創出するという双方向の連携を推進する。

【課題解決型】

【実証実験提案型】



特徴

- 区側、企業等側が相互にそれぞれのニーズを発信する (相互発信機能)
- 行政が整理した社会課題を、具体的なニーズとして民間企業等へ伝える (共通言語化機能)
- 区民ニーズの把握や提案段階における区民のフィードバックを行う (区民参画機能)
- 事業効果を図るKPIの設定等、事業評価を行う (成果の可視化機能)



¥ 持続可能な資金調達スキーム

金融機関等と連携した「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド」の創設

- ・地域の金融機関等から出資を受けSDGsを推進する企業を支援する「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド」を創設し、資金提供を行う仕組みを構築する。
- ・「しながわ SDGs 共創推進プラットフォーム」から選出されたメンバーで構成される「ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会」により支援対象事業の要件決定や事業の募集および審査等を実施する。

金融機関・民間事業者等

出資（資金協力）

出資  
(5千万円)

区

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド

- ・ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会による運営
- ・補助対象事業の要件決定、事業募集
- ・補助事業の審査、決定、支払い事務 等

応募

事業費用助成

スタートアップ企業・中小企業等

特徴

- 支援要件や事業の決定に際して関係団体や区民も関わり、様々な視点から検討を行う
- 出資した金融機関や民間事業者の企業価値の上昇につながる



品川産業支援交流施設 (SHIP)

# 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

